



銭亀沢

【重点教育目標】確かな学びを通して、良さを磨き自らを高める生徒の育成



「自分たちで成長しようとする力」

校長 村井 雄一

先日、銭中の子どもたちと過ごす中で、大変うれしく思うことがありました。ある日の放課後に行われた「全校協議会」での出来事です…。

全校協議会は、生徒会役員と各専門委員会の委員長、各学級の代表生徒が出席します。前期の生徒会総務局や各専門委員会の活動内容と活動計画についての討議のほか、特別議題として、生徒会が企画している「いじめ撲滅集会」に向けた話し合いが行われました。

「いじめ撲滅集会」に向けた話し合いでは、生徒会長の小野依千花さんが進行を務め、「銭中で起こりうる“いじめの形”について」と「銭中生一人一人が、いじめを“しない・させない・許さない”生徒になるために必要なこと」の二つを協議の柱としました。

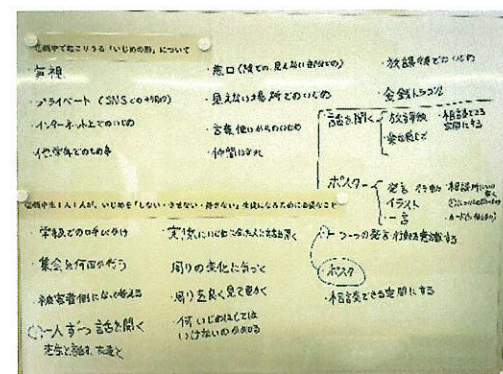
それぞれの柱について、進行役の小野さんが出席者に意見を求めます。進んで挙手したり、発言を促されたりしながら、子どもたちは次々と意見を述べ、それぞれの思いや考えが前面のホワイトボードにいくつも記されていきました。その様子に私は、いじめを決して他人事とせず、「私たちの学校ではいじめは絶対に許さない」という、銭中の子どもたちのいじめに対する意識の高さを感じ取りました。

銭亀沢中学校は、全校生徒が30名の小規模校です。アットホームな雰囲気、新一年生を上級生が温かく見守る素敵な学校です。この温かく素敵な雰囲気は、保護者や教職員の働きかけのもと、周りの仲間とのかかわりや自分たちの学校生活を、「自分たちの正しい判断でより良いものにしていきたい」という子どもたちの思いや願いがもたらしているものと確信しました。

私は「生徒が安心して、安全に過ごせる学校」を第一に考えています。子どもたちにとって身近な大人である保護者・地域の皆様、銭亀沢中学校に勤める私たち教職員は、子どもたちの安心・安全を担保すべく、それぞれの立場で手を尽くしています。

今回の全校協議会では、大人に支えてもらいながらも、子どもたち自らが変容し、自分で、また、自分たちの力で成長しようとする銭中生のたくましさの一端を見ました。

子どもの成長にかかわる者として、こんなにうれしいことはありません。

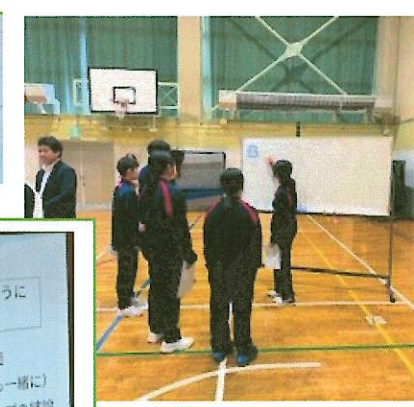


6月2日(月)	6/6間で家庭学習強調週間 放課後30分学習(希望者)	27日(金)	中体連総合大会壮行式
3日(火)	銭中祭I①予備日	30日(月)	中体連総合大会～7月2日
4日(水)	歯科検診	7月2日(水)	お弁当の日
5日(木)	眼科検診		
6日(金)	中体連陸上壮行式	3日(木)	函館地方検察庁と連携したいじめ防止教室(検事・検察事務官を迎えて) 1年生 11:25～12:15 保護者参観日(1A教室にて)
7日(土)	中体連陸上競技大会(千代台)	4日(金)	非行防止教室
9日(月)～ 13日(金)	二者懇談(午後)	10日(木)	中体連渡島大会
11日(水)	専門委員会(放課後)	15日(火)	函館地方検察庁と連携したいじめ防止教室(検事・検察事務官を迎えて) 2年生 10:25～11:25 3年生 11:25～12:15 保護者参観 保護者参観日(2・3A教室にて)
16日(月)	ALT 来校	17日(木)	校外学習(1年生)
18日(水)	職員会議	21日(月)	海の日
24日(火)	高校訪問	23日(水)	専門委員会(放課後)
26日(木)	いじめ撲滅集会	25日(金)	長期休前全校集会 (7月26日～8月24日夏季休業)

生徒会中心に『自分たちで成長しようとする力』発揮して自分たちの生活を見直ししています。(5月22日)



「ジャージ登校の必要性」について考える集会
～議案審議で提出された要望についての審議～



話し合いの内容
ジャージ登校を行うことで学校や生徒はどのように変化していくのか。
①よくなると思われる面と悪化すると考えられる面
②悪化する場合どうやってその面を補うのか(案も一緒に)
③銭中にジャージ登校が必要かどうかについてグループの結論

登校時の服装について、生徒会中心に全校生徒で議論しています。生徒会からは「ジャージ登校のメリット・デメリット」について提示され、それを受けて全員で議論していました。討議中、頭をかきながら『考えるのってむずかしい～!』と言っている1年生がいました。良い感想だと思います。一生懸命頭をフル回転させてる証拠です。『議論から逃げないで向き合うんだ～!』とハッパをかける生徒もいました。生徒の皆さんの若い頭をフル回転させて最善の答えを求めて考えたり、議論することを大切にする姿勢は、これからの複雑で変化の激しい世界を生きていく生徒の皆さんにとっては大切な力です。

生徒の皆さんへ

<任命式での校長先生からの言葉>

○「こうしなきゃならない」というゴールにとらわれて思考停止におちいらないよう、絶えず頭を働かせて、対話をしながら一番いい答えを求め続けよう!

○多数決で結論を導くのはやめよう。どんな小さな意見でも尊重して、「なぜそう思うのか」必ず耳を傾けよう。丁寧な対話を通して結論を求める姿勢を身につけることは皆さんにとって大切です。